

調布市消防団 広報誌

CVFB

CHOFU CITY VOLUNTEER FIRE BRIGADE

平成27年（2015年）1月11日 通刊第6号 発行／調布市消防団事務局 東京都調布市小島町2-33-1 文化会館たづくり西館3階 総合防災安全課内 TEL 042-481-7348



第6号



CONTENTS

分団紹介&写真で見る分団活動	P2
消防団の資器材紹介	P3
各種救命講習の様子	P3
平成27年 行事予定	P4
第八消防方面本部長賞を受賞しました	P4
東京都消防褒賞を受賞しました	P4

調布市消防団は、本部及び15個分団体制で消防団長以下304名により構成されており、普段は自営業やサラリーマンなどの生業を営みながら、消防団活動を行っています。

団員は、火災や河川の氾濫、地震などの災害時に市民の皆様の安全・安心を守るために、日夜訓練・活動に取り組んでいます。

結ぶに、市民の皆様におかれましては、調布市消防団へのより一層の御理解と御協力を賜りますよう、お願いを申し上げます。とともに、皆様の今年一年が、より佳き年になるよう心より御祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

団を目標してまいります。

局地的な大雨と雹により、市内各所で床上浸水や道路冠水など、甚大な被害が発生しました。消防団としても、浸水建物からの配水活動や道路上に堆積した雹の除去など災害対応を行いました。改め、自然災害の恐ろしさを痛感したところでございます。我々消防団においては、消火活動はもとより、いっどのような形で起こるかわからない災害への備えとして、消防防災に関する知識や技術を高め、火災発生時や、地震、風水害といった大規模災害発生時に迅速かつ的確に災害対応ができるよう、これまで以上の訓練を重ね、努力と研鑽に努めてまいります。そして、「郷土愛護」の精神のもと、より地域に根差した消防団を目指してまいります。



調布市消防団長
清水孝夫

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より調布市消防団の活動に御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。さて、昨年8月20日には広島県広島市で大規模な土砂災害が発生しました。また、9月27日には長野県御嶽山の噴火災害が発生し、いずれも多くの方の御冥福をお祈り申し上げます。お亡くなりなられた方々の御冥福をお祈り申し上げますとともに、御遺族の皆様にご配慮を申し上げます。また、11月22日には、長野県北部で震度6弱の地震が発生し、家屋の倒壊等、甚大な被害が発生しました。被災された皆様により御見舞いを申し上げます。

分団紹介

調布市の各地域を担当する分団の紹介です。
毎号、分団長からのコメントと分団の活動写真により紹介していきます。

第5分団

第5分団は、布田、国領町、染地、調布ケ丘及び多摩川を担当地域とし、近隣での災害発生時には小島町、佐須町及び八雲台への出場もしております。分団員の本業も農業、自営業、会社員など様々で、それぞれ職業上の経験を生かした消防団活動をしております。

私達第5分団は、火災時の消火活動、台風・豪雨時における水防活動、火災予防運動での広報活動の他にも、地域活動といたしまして自治会主催の消火訓練、小学校での盆踊り警備や防災訓練などへの参加、また、布多天神社例大祭では警備を担当し、地域の皆様と協力して活動を行っております。これからも調布市民皆様の生命と財産を守る事を使命とし、地域の防災リーダーとして活躍できるよう、訓練を重ねていきたいと思っております。

第5分団長 荒井直人



ベテラン団員による指導



ポンプを操作し筒先へ水を送る



可搬ポンプの点検も欠かさない



いざという時のために
ホース点検は欠かせない



消火栓からの採水 安全管理の徹底！



災害現場へいざ出動！

第10分団

第10分団は、柴崎1丁目、2丁目及び菊野台1丁目、2丁目、3丁目を担当地域とし活動しています。火災発生時には隣接する地域にも出動しています。

主な活動としては、火災、災害時に活動することはもとより、火災を未然に防ぐべく、春及び秋に実施される火災予防運動や歳末特別警戒等の広報活動、出動に備え定期的に機械器具や消火栓の点検等を行っています。更に、消防活動の基本となる操作、技術の向上を目指して毎年操法訓練を行っています。

所属する団員は皆生業を持ち職業も年齢も様々ですが、協力し訓練に励み、その結果前回の調布市操法大会では2位入賞を収めました。

また地域の防災訓練や行事に参加させていただいており、地域の皆様との交流、連携を深め地域防災に努めていきたいと思っております。

第10分団長 鈴木謙太



「器具愛護」の精神を持ち機械器具の点検を行う



ポンプ操作盤の確認は怠らない



可搬ポンプの動作確認を行う



傷病者を想定し担架を使用して
の搬送訓練



操法大会へ挑む ホースを担ぎ全力疾走



操法大会へ挑む
迅速かつ的確に放水準備を行う

第15分団

第15分団は、深大寺元町及び北町を担当地域とし、火災やその他の災害に備え、月2回の機械器具点検や警戒活動、訓練を行っています。担当区域内には特殊消防対象物に指定されている「深大寺」があり、院内には重要文化財もあります。そのため深大寺自衛消防隊や、消防署と連携して文化財防火演習、夜間演習などの訓練を行っています。

また、盆踊りや深大寺だるま市、地元の小学校でのイベントなどでは警戒活動も行っています。今後も地域の皆様との連携を大事にし、安心して暮らせる町をめざし、さらなる努力を続けて参りたいと思っております。

第15分団長 浅田朋伸



ハイパーレスキュー隊を視察し
知識を高める



防災教育の日
消火器の扱い方を指導する



車体の点検は欠かさない



消防署隊との合同降下訓練



深大寺での文化財防火演習



訓練を重ね操法大会へ挑む

消防団の 資器材紹介

消防団員は火災や災害活動時には、様々な資器材を活用し、迅速かつ効果的に活動をしています。このコーナーでは消防団が所有している資器材の一部を紹介いたします。

消火活動用資器材



ジェットシューター

林野火災の残火処理などに最適な、背負式消火水のうです。ハンドポンプと水をためるバッグから構成されており、取扱いの簡単な消火用資器材で、調布市消防団第8分団に配備しています。(分団機械器具置場に常準)

簡易水槽

約2,000ℓの水を貯めることができる水槽です。組立式のため、容易に持ち運びができ、簡易水槽と可搬ポンプを組み合わせて使用することで、遠くの火災現場まで、水を運ぶことが可能になります。(分団機械器具置場に常準)



可搬ポンプ

持ち運び可能なポンプです。河川や、防火貯水槽等から水を採ることができます。ポンプ車が入れない箇所での火災対応に役立ちます。(ポンプ車に常備)

ホース、筒先、ノズル

消火活動で消火栓等からの水を、ホースを伝って筒先、ノズルから火災現場に向けて水を放出します。最も基本的な消火活動用資器材です。(ポンプ車に常備)



通信用資器材

MCA無線

デジタル式の無線で、一対一(個別)での受発信及びグループでの受発信が可能です。消防団本部、消防団各分団1台ずつ配備しており、広範囲での通信が可能です。



デジタル簡易無線

デジタル式の無線で、チャンネル操作により一対一(個別)での受発信及びグループでの受発信が可能です。通信範囲は市街地で1km～3km前後のため、主に災害現場での消防団員間の連絡に使用します。



防災行政無線

アナログ式の無線で、全体への受発信が可能です。各消防ポンプ車に1台ずつ搭載されています。



風水害・災害対応用資器材

破壊工具ストライカー

被災建物や倒壊家屋を破壊して、救助を行うための工具です。重機が入らないような狭い場所での救助活動に役立ちます。先端ツールを変えることで、窓や扉のこじ開けが可能となり、さまざまな災害に対応することが可能です。(分団機械器具置場に常準)



AED

心肺停止状態の負傷者に対して、電位ショックを与えて心臓の動きを戻すことを試みる医療機器です。団員は普通救命講習、上級救命講習及び普及員講習を受講し、緊急時の対応に備えています。(ポンプ車に常備)



排水ポンプ

風水害により、浸水した建物から排水活動を行う際に使用します。小型で軽量のため、可搬ポンプが進出できない場所での活動に役立ちます。他に、道路冠水時にも活用できます。(分団機械器具置場に常準)

担架

傷病者の搬送に使用します。(ポンプ車に常備)



救命ボート、救命胴衣

大規模な風水害に対応するため、多摩川地区を担当している調布市消防団第8分団に配備しています。(分団機械器具置場に常準)



救命講習の受講の様子

調布市消防団は、団員の資質向上の一環として応急救護活動のための、普通救命講習、上級救命講習及び応急手当普及員講習を積極的に受講しています。AEDの取り扱い以外にも、三角巾を使用した応急処置や傷病者の搬送方法も学んでいます。



上級救命講習受講の様子



AEDを使用した心肺蘇生



三角巾を使用した応急処置



毛布を使用し、傷病者の搬送方法の実践



幼児用の心配蘇生方法も学ぶ

平成27年の主な予定

1月11日	出初式
1月23日	文化財防火演習
2月14日	消防ポンプ車技能講習会
3月上旬	機械器具特別点検
3月1～7日	春の火災予防運動・警戒
4月1日	新入団員等任命式
4月末日	機関員訓練・規律訓練
5月上旬	基本操法訓練
9月上旬	総合水防訓練
9月下旬	調布市ポンプ操法訓練会
9月下旬	北多摩地区消防大会
10月中旬	総合防災訓練
11月9～15日	秋の火災予防運動・警戒
11月中旬	震災消防訓練
12月下旬	歳末特別警戒

ほか、地域の防災訓練や催事等にも参加しています。
(予定は変更される場合があります。各行事の詳細は消防団事務局までお問い合わせください。)

消防団の特徴とは？



消防団は日々訓練を行いながら、災害に備えて鍛錬を積んでいます。消防団の特徴を生かし、地域の災害対応にあたっています。

①消防団員は、生業を営みながら活動しています。

消防団員は、普段自営業やサラリーマンなどの生業を営みながら、消防団活動を行っています。

②消防団は、災害に備え、訓練・研修・警戒活動を行っています。

消防団員は、文化財防火演習、基本操法訓練、総合水防訓練、総合防災訓練、震災消防訓練など、災害に備え様々な訓練を行っています。また、災害の防止に向け、警戒活動も行っています。

③消防団は、地域に密着した活動ができます。

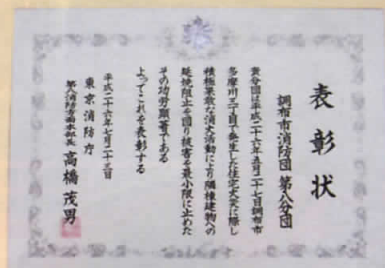
消防団は、自分の地域は自分で守るという「郷土愛護」の精神のもと活動しています。自分達の地域の特性や情報に詳しく、いち早く災害現場に駆け付けることができ、災害対応にあたることができます。また、地域防災訓練への協力や、祭礼の警戒も行っています。

第8分団

東京消防庁第八消防方面本部長賞受賞



平成26年7月23日に、第8分団が東京消防庁第八消防方面本部にて、東京消防庁第八消防方面本部長賞を受賞しました。第8分団は、住宅火災に出場し、火元建物への積極的な放水活動を行い、隣棟建物への延焼阻止を図り、被害を最小限に止めた功績が認められ、受賞しました。



表彰状を持つ調布市消防団 安土第八分団長と、第八消防方面本部、調布消防署の方々。(向かって前列左は、調布市消防団清水団長。前列右は第八消防方面本部高橋本部長)

東京都消防褒賞受賞



熊澤兼夫副団長は昭和57年に調布市消防団第3分団に入団し、分団長、副団長を経て22年活動した結果、その功績が高く評価され、平成26年10月30日に、東京都庁第一本庁舎5階大会議場にて、東京都消防褒賞を受賞しました。この表彰は、長年にわたり研鑽を重ねた消防団および消防団員の功労を称え、東京都知事より賞されるものです。



防災・安全情報メールに登録を！

登録されたパソコンや携帯電話に下記の情報が配信されます。



- 市からの緊急のお知らせ
- 気象警報・注意報(調布市)
- 地震情報
- 週末の天気予報
- 防犯等に関する情報

◇登録方法

下記アドレスまたは右のQRコードに空メールを送信して下さい。

entry-chofu@bousai-mail.jp

問い合わせ：調布市総合防災安全課 042-481-7346

地震時の行動

地震の時は、まず身の安全を図り揺れがおさまるまで様子をみる。



地震時に身の安全を図ることは、けがなどを防止するだけでなく、地震直後の行動に移行するための重要な行動です。

お問合せ:調布消防署

☎042-486-0119

地震！
まず身の安全！！

消防団員募集！



調布市消防団と地域のみなさまがあなたの力を待ち望んでいます！

お問い合わせ

調布市消防団事務局
(調布市役所総合防災安全課内)

☎ 042-481-7348

入団資格

調布市に居住しており、年齢18歳以上の健康な方